

## 抗 Rpn9 (*S.cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクリーナル

62-207 100 µl

保存: 4℃もしくは-20℃で送付、-20℃保存

免疫原: 大腸菌に発現させた GST 融合全長 Rpn9 タンパク質 (文献 2)

形状: 精製 IgG in PBS<sup>-</sup>, 1 mg/ml BSA, 0.09% sodium azide, 50% glycerol。抗 Rpn9 抗体を含む抗血清 GST-Sepharose カラムを通して抗 GST 抗体を除く。さらに、素通り分画に含まれる抗 Rpn9 抗体を protein A カラムにかけて精製した。

反応性: *S. cerevisiae* Rpn9.他の種については試されていない。

### 用途:

- 1) ウェスタンブロッティング (1/1,000~1/2,000 希釈)
- 2) 免疫沈降

背景: プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ピキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献 1)。活性型の 26S プロテアソームはタンパク質分解実行ユニットである 20S プロテアソームの両端に、それを制御する 19S 複合体が会合した巨大な分子複合体である。19S 複合体はさらに base (基部) と lid (蓋部) に分けられる。Rpn9 は lid の non-ATPase サブユニットのひとつで、26S プロテアソームの構築や安定化に重要な役割を果たしている。Rpn9 破壊株は温度感受性を呈し、細胞周期やプロテアソームの構築に障害がある。

データリンク: SGD [RPN9/YDR427W](https://www.yeastgenome.org/locus/RPN9/YDR427W)

関連製品: [# 62-201 anti-Rpn3](#), [#62-203 anti-Rpn5](#), [#62-205 anti-Rpn7](#), [#62-209 anti-Rpn12](#), [#62-211 anti-Nob1](#), [#62-213 anti-Nas6](#), [#62-215 anti-Tem1](#)

文献: この抗体は文献 2 で作成された。

1. Hershko A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." *Annu. Rev. Biochem.* **67**, 425-479 (1998) PMID: [9759494](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9759494/)
2. Takeuchi J *et al* "Rpn9 is required for efficient assembly of the yeast 26S proteasome." *Mol Cell Biol* **19**:6575-6584 (1999) PMID: [10490597](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10490597/)

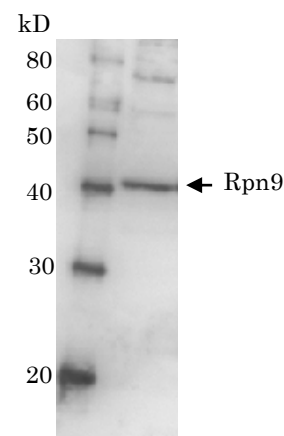


図 1 *S. cerevisiae* 粗抽出液で、この抗体を用いたウェスタンブロッティングを行い、Rpn9 (46kD)を検出した。